

【連載7】

Houzzに学ぶ ブランド認知度向上ガイド

Houzz Japan
代表取締役
加藤愛子氏

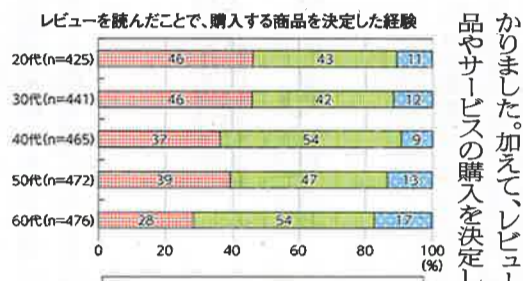
幼少期をアメリカで過ごす。シカゴ大学経済学部卒業。2011年にMBAを取得後、ビューティートレンドジャパンの代表取締役に就任。GLOSSY BOX日本法人を創業。その後ニューヨークを拠点にコンサルティング業を行う。2014年より現職。



「レビュー」という情報資産
前回同様得意分野の上手な伝え方を事例とともに説明しました。今回は、顧客の声であるレビューを集めることの重要性を紹介いたします。

Houzzでは、ユーザーである皆さまがお仕事を依頼した専門家、または一緒にお仕事をした専門家に対しての感想や評価をレビューとして投稿することができます。レビューは、施主が専門家を探しているとき、専門家として一緒に仕事をしたいパートナー企業を選んでいくときの重要な参考情報になります。

平成28年度版の総務省「情報通信白書のポイント」によると、商品やサービスを購



▲平成28年度版の総務省「情報通信白書のポイント」より

入る際、どのぐらいレビューを参考するのかを調査した結果、20代～60代の60%以上がレビューを参考にしていることがわかりました。加えて、レビューを読んで商品やサービスの購入を決定したことがあ

るか尋ねた結果、80%以上の方がレビューを参考に購入したことがわかりました。

また、同調査ではレビューを参考にしているか、20～60代の年代でも「情報の信頼度(一定数の人が実体験に基づき評価をしているか)」をもっと重視し、次いで20～40代では「情報量が多いこと」、50～60代では「最近の情報が含まれていること」を重視していることがわかりました。

レビューは情報資産であり、自社サイトやHouzzのようなサービスを使って質の良いレビューを掲載することで、オンライン上での信頼性を高め、ビジネスチャンスを促すことが可能になります。

今回は、事例とともにレビューの上手な集め方や注意点を紹介します。

LIXIL アプリでシャッター開閉 IoT機能を強化



発表会ではスマホやスマートスピーカーを使った実演も

スマートスピーカーを操作してシャッターの開閉状況を確認することも可能。

「今回の電動シャッターと同時に発売する電子錠搭載ドアを、商品単体だけではなく、ドア・サッシ全体の売り上げアップにつなげられるような商品に育てていきたい」とLIXIL Housing Technology Japan サッシ・ドア事業部長・関塚英樹(常務役員)。

LIXIL(東京都千代田区)はOSTEMブランドから新たな住宅用窓シャッター「スマート電動」と「電動」を発売する。東日本地区で4月、西日本地区で6月に販売開始の予定。

2商品の特徴は専用アプリ「My Window」をスマホにインストールすることで、窓シャッターのリモコンとして利用できる点。アプリを通じてシャッターの開閉状況を確認することも可能。



LIXIL Housing Technology Japan サッシ・ドア事業部長 関塚英樹(常務役員)

スマート電動は、スマホで家中のシャッターを1斉操作することもできる。同社が提供するIoTホームリンク「Life Assist」(ライフアシスト)と連携させれば、外出先からの開閉操作や開閉状況の確認、スマートスピーカーを通じて音声操作も可能になる。他にもスマホが家から一定距離離れると自動で閉まる、地域

また、両商品とも施工性も向上した。例えば、リモコンを電池式としたため従来は手間だったスイッチの配線工事が不要。これまででは1窓あたり約6分かかっていた開閉の初期設定は、設定ボタンを1回操作するだけで済むようになった。

「今回の電動シャッターと同時に発売する電子錠搭載ドアを、商品単体だけではなく、ドア・サッシ全体の売り上げアップにつなげられるような商品に育てていきたい」とLIXIL Housing Technology Japan サッシ・ドア事業部長・関塚英樹(常務役員)。



▲施工研修の様子

GENSEN(東京都渋谷区)は「ウォールアーツ」の出張研修に力を入れている。同社のオリジナル塗り壁材「輝・キブラ」の性能、質感と効果的な仕上り方法を伝える研修だ。

神奈川県に研修施設もあるが、遠方の人や企業でまとまって研修を受けたい人向けに出張研修を行っている。

室内の空気質について



▲女性や高齢者も多く受講

GENSEN 塗り壁の「出張研修」強化 認定者3600人突破

「機能に優れた良い商品でも、正しい使い方しないと悪い商品になってしまう。ものを売るのではなく、室内の環境を改善する手法を広めるために研修に力を入れています」(太田健一社長)

多い時で1日30人以上が受講、これまでに3600人以上が認定を取得している。左官や塗装の職人のほか未経験者や女性の受講者も多く、ビジネスにつなげる目的ではなく、自宅や職場を自分で施工するために講習に参加者が集まっている。

メーカーニュース

設計事務所・工務店 必携!!

積算資料 ポケット版 住宅建築編 2019年度版

住宅などの新築工事に必要な仮設工事から外構、店舗工事まで35工種に分類した材料・工事単価を掲載。自社における単価の検証、外注費用の把握に最適

●特集 「住み継がれる」ための安全・安心・快適な家づくり

●トピック
自社の環境・社会への取り組みを「SDGs」の17の目標に置き換え、広報資料を作成しよう!

●設計見積り実例
・木造とRC造の混構造3階建て 自邸+賃貸からなる重層形態の住宅
・高低差を活かす構成で建築費を抑えた都市型二世帯住宅

●お申し込み・お問い合わせは●
一般財団法人 経済調査会 業務部 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-15 菱道御成門ビル
☎ 0120-019-291 FAX 03-5777-8237

積算資料 ポケット版 リフォーム編 2019

住宅リフォーム工事費の決定版!
(公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター
「リフォーム見積書チェックサービス」根拠資料

●特集
①耐震リフォームに有用な製品・工法一覧
②健康寿命を延ばす断熱リフォーム

●トピックス
・既存住宅流通の活性化に向けた取り組み「安心R住宅」について
・「住宅リフォーム事業者団体登録制度」について

●お申し込み・お問い合わせは●
詳細・無料体験版ご購入はこちら!
Bookけんせつ Plaza 検索
http://www.pocket-ban.com/

#BCTION デッドスペースをアート空間に 解体予定ビルに1万5000人



▲自由に落書きできるフリーウォール



▲非常階段にはアーティストによる壁画が

都市のデッドスペースへの新たな価値付けを目的に活動する「#BCTION」というアートプロジェクトがある。昨年11月から2月末までの間には、渋谷のスクランブル交差点前にある商業施設「MAGNET by SHIBUYA 109」の空きテナントにフリーウォールを出現させた。これは、訪れた人が自由に壁に落書きができるというもの。「アートは見せつけられるものというイメージがある。みんなが参加できるものにしたかった」と話すのはプロジェクトのオーガナイザー、嶋本丈士氏。また、同ビルの非常階段と屋上には#BCTION ONがキュレーションしたアーティストによる壁画が描かれている。以前は店舗の荷物が積まれていたという階段が、1階から7階までさまざまなアートに触れられる場になった。



▲(左)嶋本丈士氏(右) 大山康太郎氏 2人と#BCTION オーガナイザー

同商業施設は体験型のコンテンツを増やし、物売るだけではなくカルチャーを発信する場へと生まれ変わらせようとしている。背景にあるのはネット市場の拡大。今回のような取り組みで「足を運ばせる商業施設になる」と嶋本氏。大山康太郎氏は「みんな喜んで描いてくれる。MAGNETの協力で空き店舗を有効活用できました」と語る。4カ月間で6万5000人が訪れた。2014年には、同プロジェクトは東京都千代田区にあった解体予定のオフィスビル「ニュー麹町ビル」をアート空間へと変えた。このビルは老朽化により、取り壊しが決まっていた。80組以上のアーティストが参加し、地下1階から9階の各フロアに壁画を中心にア

ト作品を展示。この時もエンタランスにフリーウォールを用意した。17日間で1万5000人が来場し、取り壊し直前の古いビルに活気があふれた。「土地の価値を上げるならイベントをやるのがいい。壊す前に注目を集められる。それまでの建物のイメージを変え、次に建てるものへと人々の記憶をアップデートできる」(嶋本氏)

オリジナルアプリの製作を格安で請け負っているのがアプリクッキング(東京都中央区)だ。同社では50万円、補助金を利用すればわずか25万円程度でアプリの製作が可能。既に50社近いビルダーや工務店が導入している。アプリの主な機能は、情報の配信やチャット、クーポンの配布、来店の手約など。例えば新規ユーザーには、イベントやキャンペーンの案内、自社のリフォームの魅力を伝える記事を配信してニーズを刺激する。OBに「築年数や工事履歴に応じてメンテナンスやお勧めのリフォームの案内を送ったり、暮らしに役立つ情報を配信するといったことができる。アプリの配信は、イベントや店舗、ホームページへの来場者など自社のサービスに関心を持ったユーザーにダウンロードしてもらおう形をとる。アプリは利用する側の匿名性が高いため、気軽に使ってもらいやすい」と山下大輔社長は話す。さらに、情報配信は携帯

若手生産者と共に創る これからの国産量産

みらい

私たちが生産しています

- 若手農家が生産
- 熊本県八代産い草使用
- 残留農薬不検出
- 品質証明書発行

2018年い草・い草製品評会で全品質を頂きました

ITトランクトラスト株式会社
TEL 045-227-8305

木造住宅塗装リフォーム協会 サイディング施工の技術提供 営業テクニックも支援

木造住宅塗装リフォーム協会(東京都墨田区)は、塗装事業者に向けたサイディング施工技術のノウハウの提供を強化している。



古畑秀幸代表理事

同団体に加入する事業者は1335者。うち7割が地域の塗装店だ。多くの事業者は周辺の事業者との差別化を図るために加入を希望する。「建物の外壁の劣化があまりにもひどい場合、

塗装では改善できません。しかし、多くの塗装店はサイディングの施工技術を持たないため、受注機会を失っています。私どもは塗装店にその技術を提供し、塗装と窯業サイディングの両方で受注ができる事業者を育成しています。そうすることで彼らの企業も大きくできます」(古畑秀幸代表理事)

一般的に築後10年、20年

年で外壁塗装が行われる。3回目にサイディングの提案ができれば、さらにその後も塗装のリピート受注が狙える。同団体加入者の戦略はまさに安定したリピート受注の獲得にある。同団体は、加入者に技術力を担保するため、「築業サイディングメンテナンス診断士」という協会独自の技術資格の取得を求めている。この資格は、サイディングの歴史やメーカー、商品から、張り替えの工法、診断方法などサイディングに関わる多様な知識が必要な内容。これに合格した者が協会に加入することができる。

資格制度は10年ほど前から始まっており、これまで約1500人の合格者を輩出している。加入事業者の規模が中

積的だ。有資格者であることを積極的にPRし、「まずは診断しませんか」という形で消費者にアプローチをしていく。「診断だけで終わってほしいわけです。診断書を発行しますし、その結果を踏まえて相談してもらえれば商談につながります。こうして『塗装する前にはまず診断』という流れが消費者に浸透すれば、加入企業が有利になっていきます」(古畑代表理事)

同団体は、昨年11月6日に国土交通省が推進する、リフォーム事業者団体登録制度に登録した。



アプリクッキング 山下大輔社長

オリジナルアプリの製作を25万円

ビルダーなど50社が導入

携帯電話のプッシュ機能を利用できるため、チラシを不特定多数のユーザーに配布するよりも、高い告知効果が期待できる。追加料金はかかるが、必要に応じて機能を追加することも可能だ。こうしたアプリ製作を格安で提供できる理由は2つ。1つは、利用目的に応じたアプリのひな型を複数用意しており、それを顧客の要望に応じてカスタマイズしていく方式で製作しているため。工程を大幅に減らすことができ、製作費用も期間も抑えられる。もう1つは、各工程ごとに製作スタッフがクラウド上で募集する形をとっていること。スタッフは、好きな時間にやりたい業務を自由に選んで行うことができる。このため、フルタイムで働くことが難しい人材も活用することが可能だ。「アプリはエンドユーザー向けのものだけでなく、業務管理など社内でするものも製作できます。さまざまなアプリを手軽につくれるサービスを提供することで、お客様と私ども製作側の両方で業務の効率化を進め、『働き方改革』を実現していきたい」と山下社長は意気込みを語った。

総合ニュース

～室内空気質を考える会社～

株式会社GENSEN®

取り扱い店/販売代理店募集
一日で取得出来る塗り壁養成認定資格
ウォールアーティスト®募集

健康塗り壁®シリーズ/セパレートG・ドライコートG 4月より販売開始

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-38-11 村上ビル2F
FAX:03-6276-7116 ウォールアーティスト 検索 TEL:03-6276-7115